

印西市公共施設適正配置アクションプラン (案)

市民意見公募（パブリックコメント）の結果

案 件	印西市公共施設適正配置アクションプラン（案）		
募集期間	令和2年1月9日（木）～令和2年1月22日（水）		
意見の提出	87件（42名）		
意見の取扱い	修正	案を修正するもの	40件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	1件
	参考	案には反映できないが今後の参考とするもの	9件
	その他	案には反映できないが意見として伺ったもの	37件

市民意見公募（パブリックコメント）における意見と意見への対応

※一字一句同様の意見がございますが、別個の方から提出いただきました意見であり、誤りではございません。

※ページ番号は、原則、市民意見公募の際のアクションプラン（案）のものです。修正によりページ番号が変わった箇所は、その旨注記しております。

No.	該当ページ	意見	意見への対応
1	58	<p>「滝野出張所」の「牧の原出張所」への集約化には反対します。滝野地区及びその周辺には新たな住宅建設が続いており、行政手続きが必要とされる住民が今まで以上に増加している上、住民の高齢化が進んでいるため、遠距離にある「牧の原出張所」まで出向くことは容易ではなく、「滝野出張所」が集約化されることにより、行政サービスが著しく低下する。</p> <p>また、「牧の原出張所」は民間施設の一部を賃借し、施設の持続性が担保されないため、市有地にある「滝野出張所」の大規模改修又は建て替えを図ることにより、将来的にも円滑な行政サービスの提供の確保を図るべきである。</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>【背景等】 市では、国の要請に基づき、平成29年3月に策定した「印西市公共施設等総合管理計画」におきまして、将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況により、全ての公共施設やインフラ資産を適切に修繕、更新し、安全性を確保し続けていくことが困難であると見込まれることから、公共施設マネジメント（公共施設の整理統合や維持管理の効率化等）を推進することとしております。</p> <p>また、人口減少や更なる少子高齢化の進展等を踏まえ、市の財政が悪化した場合、その回復は困難となり、将来の市民の皆様の生活に大きな影響が生じてしまうことが懸念されます。しかしながら、公共施設やインフラ資産の適切な管理だけでなく、福祉や教育、防災、子育て支援など、市が行うべき様々なサービスがあり、これらに係る費用も確保し続けなければなりません。</p> <p>【集約化の理由等】 このような状況を踏まえ、滝野出張所と牧の原出張所につきましては、駅の約1km圏内に近接して設置しており、住民票等のコンビニ交付の導入や口座振替による納税の推進などの代替手段の確保とともに、出張所は他の施設に比べ利用機会が限られる施設であることから、駅南北の地域からのアクセス性を考慮したうえで、より駅に近く、利用件数が多い牧の原出張所への集約化を検討することとしております。</p> <p>ご指摘のとおり、牧の原出張所は民間施設の一部を賃借しておりますが、他の自治体において、財政難により自らが保有する公共施設が閉鎖している例もありますように、市有地であっても持続性を担保できるものではなく、今後も市民の皆様にサービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございます。</p> <p>【集約化後】 牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。</p> <p>また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本榎ファミリア館内の本榎図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。</p> <p>併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機（コンビニ交付用の機器）の設置等について働きかけていきたいと考えております。</p> <p>ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P.72の「(2) 取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】 なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めてまいります。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73となります。</p>
2	58	<p>私の住む滝野地区は、約20年前に街びらきをし、高齢化が進んでいる地区となります。最近では、滝野7丁目の新規開発、隣接する牧の原地区でも住宅販売があり住民の増加もあります。また、フォレストモール印西牧の原の出店により、本榎ファミリア館は、地域の中核地区に位置する重要な施設となっております。</p> <p>高齢化は、他の地域も同じような問題を持っていると思われませんが、滝野を含む隣接地区では、高齢化の問題と新規の住民の増加という二つの課題があり、しかも新規住民には、若い世代が多く、保育所も足りていない状況です。</p> <p>これからさらに宅地販売が始まる状況にもある滝野隣接地域の現状を踏まえると滝野出張所の利用は、これから増加することが見込まれると思います。また、高齢化世帯への配慮も必要だと思います。</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>集約化の理由等につきましては、No.1で回答させていただいたとおりです。その中で、牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。</p> <p>また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本榎ファミリア館内の本榎図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。</p> <p>併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機（コンビニ交付用の機器）の設置等について働きかけていきたいと考えております。</p> <p>将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様にサービスを提供し続けるた</p>

No.	該当ページ	意見	意見への対応
		<p>つきましては、滝野出張所の移転（集約化）については、時期尚早と考え、意見申し上げます。</p> <p>開館時間や曜日の見直しなどの検討事項はあると思いますが、滝野出張所の維持を再検討頂きたく、お願い申し上げます。</p>	<p>め、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P.72の「(2) 取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】 なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めていきます。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73 となります。</p>
3	58	<p>お世話様です。本案につきまして、滝野地区の在住者として意見を述べさせていただきます。</p> <p>滝野出張所は各種税金の支払いや住民票、印鑑証明書の公的書類の発行等にて高頻度で利用させて戴いております。徒歩で行けることで非常に利便性が高いと認識しております。</p> <p>滝野地区も高齢化が進む状況ですので、出張所の統合より一気に行政との距離が離れてしまう状況に陥ります。徒歩圏に行政窓口があることの利便性と行政との距離の近さを鑑みて戴きたくお願い致します。</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>集約化の理由等につきましては、No.1で回答させていただいたとおりです。その中で、牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。</p> <p>また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本塾ファミリア館内の本塾図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。</p> <p>併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機（コンビニ交付用の機器）の設置等について働きかけていきたいと考えております。</p> <p>将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様にごサービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P.72の「(2) 取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】 なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めていきます。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73 となります。</p>
4	-	<p>公共施設の集約化と複合化は、それらをよりよく活用することだと考えます。現在は主に個人、サークルなどで利用されている公共施設ですが、さらに活用する方法として以下の通り提案したいと思います。</p> <p>（提案）</p> <p>以下の案において、必要に応じて、民間に公共施設の土地や空間を貸出したり、運営を委託したりして、公共施設に人が集まる仕掛けを作る。</p> <p>①公共施設や公園に少しオシャレをして行きたくなるようなカフェを作る。</p> <p>カフェでお茶を飲み誰かと話すことは楽しく、心の健康にもよいことです。買い物に行くときに、時々カフェに立ち寄ることを生活に組み込むことができれば、心豊かに暮らしていける人が増えるのではないでしょうか。とくに高齢者で習い事のある方々は一部であり、高齢者の健康、孤立防止(ひいては見守り・情報収集)という観点からも効果的であると考えます。</p> <p>また、公園のカフェは小さな子供のいる若い世代との交流の場にもなると思います。</p> <p>このような世代を超えて人が集まる仕組みが印西市にあると、本当に素晴らしいと思います。よい景観の土地や空間も多くあります。よりよい活用をお願いいたします。</p> <p>②公共施設では、図書を充実させ小さな図書館を作る。 多くの人にとって、身近に図書館がある環境は心豊かな生活を送る助けになるのではないでしょうか。</p> <p>③公共施設を一部、オフィスなどとして民間へ貸出す。</p> <p>公共施設が支出だけの場所ではなく、収益を生み出す場所でもあって欲しい。そういう多様な価値は施設に緊張感を与えて、さらに使う楽しさに結びついていくと思います。</p>	<p>意見の取り扱い：【参考】</p> <p>今後、公共施設の集約化や複合化に取り組む際等の参考とさせていただきます。</p>

No.	該当ページ	意見	意見への対応
		<p>以上、印西市が商業施設の町で暮らしやすさがあるばかりでなく、皆さんがより身近な場所で生活が充実し生き生きと生きられる町になればと思って書きました。とくにカフェについては、ヨーロッパにおける人々が集まるカフェ文化から取り入れたいことでもあります。富山市には公園の中に世界一景色のいいスタバがあります。素敵な景色がたくさんある印西市は将来、公共の場所にカフェのある、カフェの町、そんな魅力的な町になるのではと思います。複合化の一つとして、まず一つ目から、是非ご検討下さいますようよろしくお願いいたします。</p>	
5	58	<p>この度上記（案）について計画されていることをしりました。私は筋ジストロフィーを患い次第に筋力が衰えていくことに悩みながらできる範囲での自力生活をしています。現在は少しの距離でもって自家用車を運転していきます。近い将来車の運転もできなくなることを考えると、滝野出張所の移転は私の生活に厳しいこととなります。地域の人口も増え、利用者も多くなっていることと思います。願わくばこのままでの運営をお願いいたします。</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>集約化の理由等につきましては、No.1で回答させていただいたとおりです。その中で、牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。</p> <p>また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本塾ファミリア館内の本塾図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。</p> <p>併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機（コンビニ交付用の機器）の設置等について働きかけていきたいと考えております。</p> <p>将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様にごサービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P.72の「(2) 取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】</p> <p>なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めていきます。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73となります。</p>
6	-	<p>適正配置アクションプラン（案）自体、市民サービスの低下に直結するだけに、あまりに拙速かつ安直であると考えます。現時点では、反対です。</p> <p>今までの市政の失敗のつけを市民に押し付けるものであり、まずは、市職員のレベルの低さ、議員の多さ、無駄に道路をつくる・・・等々の山積みの課題を明確にし、是正すべきアクションプランを示し、その上で市民に問うのが順序です。</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>集約化の理由等につきましては、No.1で回答させていただいたとおりです。その中で、牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。</p> <p>また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本塾ファミリア館内の本塾図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。</p> <p>併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機（コンビニ交付用の機器）の設置等について働きかけていきたいと考えております。</p> <p>将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様にごサービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P.72の「(2) 取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】</p> <p>なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めていきます。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73となります。</p>

No.	該当ページ	意見	意見への対応
7	58	<p>滝野出張所移転計画案に反対します。</p> <p>1. 高齢化に伴い車の運転が出来ない人が増えている中、出張所が遠くなることはおかしい。出張所は近くにあつて、市民サービスに努めるべき。</p> <p>2. 一方国も高齢者の免許返納を推進しており、市役所出張所の減少はこうした動きを抑制するものであり国の方針に矛盾する。</p> <p>3. 市役所出張所を減少させるのであれば、何らかの代替策を講じるべきである。</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>集約化の理由等につきましては、No.1 で回答させていただいたとおりです。その中で、牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。</p> <p>また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本埜ファミリア館内の本埜図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。</p> <p>併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機（コンビニ交付用の機器）の設置等について働きかけていきたいと考えております。</p> <p>将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様にごサービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P.72の「(2) 取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】</p> <p>なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めていきます。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73 となります。</p>
8	58	<p>滝野出張所を無くさないで下さい。この計画を立てる前にやる事がたくさんあるでしょう。財政難なら無能な公務員の人員削減と給料削減をやって下さい。市長と議員は特に高いです。市民につけを回すな！</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>集約化の理由等につきましては、No.1 で回答させていただいたとおりです。その中で、牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。</p> <p>また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本埜ファミリア館内の本埜図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。</p> <p>併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機（コンビニ交付用の機器）の設置等について働きかけていきたいと考えております。</p> <p>将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様にごサービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P.72の「(2) 取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】</p> <p>なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めていきます。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73 となります。</p>

No.	該当ページ	意見	意見への対応
9-1	58	<p>自治会からの連絡事項で市にて掲題が検討されている由 正直驚いています。</p> <p>統合することによってどれほどのコストダウンが図れるのか数値が記載されていないのでわかりませんが、牧の原出張所に統合されることによる滝野地区住民の不便さは計り知れません。</p> <p>牧の原出張所を見てきましたが、駐車場はビッグホップの駐車場を使用するとしても、近くの場所は月極などであまり空きがなく、またビッグホップの駐車場自体出入りに時間がかかり、中の走行通路も極めて狭くいつ事故が発生してもおかしくない状態なのではと想定され、高齢者の運転には不向きであること。</p> <p>自転車の駐輪場も近くの場所は空きが殆ど無く、遠い場所は自転車を降りて歩かなければならないことから、当該出張所を利用するには基本徒歩となること。駅まででも結構遠いのに統合先が駅の向こう側とはいかがなものか。</p> <p>また牧の原出張所は極めて狭く、滝野出張所で受け付けてくれている油や小型家電などの受け入れ場所も無く、更に向こう側にある図書館まで行く必要があるとの由。</p> <p>統合がどうしても必要？だとしても、せめてモア側に出張所をつくるぐらいのことを検討して欲しい。</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>集約化の理由等につきましては、No.1 で回答させていただいたとおりです。その中で、牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。</p> <p>また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本塾ファミリア館内の本塾図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。</p> <p>併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機（コンビニ交付用の機器）の設置等について働きかけていきたいと考えております。</p> <p>将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様へサービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>ご指摘の牧の原出張所の狭隘につきましては、P.59 に記載のとおり、民間事業者と調整し、施設の拡大を検討することとしております。また、滝野出張所と牧の原出張所の集約化後の本塾ファミリア館における油や小型家電などの受け入れにつきましては、今後検討させていただきます。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P.72 の「(2) 取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】</p> <p>なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めてまいります。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73 となります。</p>
9-2	-	<p>尚 今回の統合案とはなんの関連もありませんが印西市役所や本塾支所がハザードマップ上危険な地域あるいは当該地域に隣接していることへの対応案があれば広報して欲しい。</p> <p>例えば 本塾支所をニュータウン側に移設し、万一の場合市役所のバックアップとして使用する案など。</p>	<p>意見の取り扱い：【その他】</p> <p>水害等により印西市役所が使用できない場合の災害対策本部につきましては、印西市地域防災計画に基づき、ふれあいセンターいんばに設置することとしております。</p>
10	58	<p>1) 原則的に、滝野出張所が牧の原出張所に集約されることに反対します。</p> <p>ご指摘の通り、滝野エリアは高齢化が進んでいますが、一方で滝野7丁目や草深(一部)、牧の原6丁目(グリーンフォレスト寄り)には近年、1戸建ての住宅建設が増え続けており、特に若い世代の住人が増加し続けています。その為、滝野出張所の利用頻度は上がっており継続を希望します。</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>集約化の理由等につきましては、No.1 で回答させていただいたとおりです。その中で、牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。</p> <p>また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本塾ファミリア館内の本塾図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。</p> <p>併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機（コンビニ交付用の機器）の設置等について働きかけていきたいと考えております。</p> <p>将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様へサービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P.72 の「(2) 取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】</p> <p>なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めてまいります。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73 となります。</p>

No.	該当ページ	意見	意見への対応
		<p>2) 万が一集約された場合、滝野エリアにおける公共交通（バス）の運行を大幅に増便するよう要望します。</p> <p>高齢化が進む現状は如何ともし難く、それによる運転免許の返納は時代の流れとしてやむなき状況であるとは言え、自家用車が運転できなくなる不便さは喫緊の問題です。加えて、公共交通の不便さを考えると、住民・特に高齢者にとっては日常の生活に大きな支障を来すこととなります。</p> <p>現行の運行状況では特に日中の運行が無く、出張所への往復に支障を来します。</p>	<p>意見の取り扱い：【その他】</p> <p>今後、本アクションプランの内容や市全域のバランスなどを考慮しながら、研究して参りたいと考えております。</p>
		<p>3) 更に、集約後の本榑ファミリア館の施設の改装などによる機能向上に万全を尽くして頂きたい。</p> <p>自治会、滝野シニアクラブなど地域の団体が活動するにあたり、集会所が狭くなってきており、本榑ファミリア館の拡充による対応が解決策の一つと考えられます。</p>	<p>意見の取り扱い：【既記載】</p> <p>本アクションプラン（案）P57の「②対策と優先順位の考え方」において、「集約化後の本榑ファミリア館については、外壁等の老朽化や、滝野子育て支援センターの利用増による駐車場不足等に対応し、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため大規模改修又は建替えを検討します。」と記載しております。</p>
		<p>4) 現在の滝野出張所・最寄りの公共交通のバス停と運行現況</p> <p>滝野エリア（滝野出張所近辺）から牧の原出張所へ行くには、公共交通（バス）の停留所は3か所—滝野3丁目、滝野小学校前、本榑クリニックタウンがあります。最近、運行本数が増えたとは言え滝野エリアから牧の原出張所へ行くには十分とは言えません。特に日中の循環バスは皆無で、牧の原出張所へ行く術がありません。</p>	<p>意見の取り扱い：【その他】</p> <p>今後、本アクションプランの内容や市全域のバランスなどを考慮しながら、研究して参りたいと考えております。</p>
1 1	58	<p>自治会の回覧でアクションプランを拝見し、滝野出張所が牧の原に集約の計画があることを知りましたので、一言書かせていただきます。</p> <p>自治会会合でも問題視されたようですが、滝野1・2丁目は私を含め今後高齢化が進み、車の利用も困難になることが想定されます。事実私の近所の家庭の多くは私の家と同様、子供が成人しご夫妻だけの世帯が多くを占めています。</p> <p>自治体の財政を考えた場合、公共施設のスリム化は必然なのでしょうが、何か工夫により利便性を維持する方法があるのではないかと考えます。</p> <p>例えばですが、</p> <p>① 滝野出張所を統合後、「滝野プラザ（図書館、公民館機能）」が残るのであれば、窓口業務（各種証明書の交付等）はそこへの委託などで残せるのではないかと。</p> <p>② 一層の電子化による本人認証システムを作り（又はマイナンバーカードの活用で）スーパーマルエツへの委託、又はフォレストモール内にキャッシュディスプレイ風の証明書発行機を設置するとか</p> <p>上記は一例ですが、単純に統合だけでなく、何らかの代替案もお示ししてほしいというのが私のコメントです。</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>集約化の理由等につきましては、No.1で回答させていただいたとおりです。その中で、牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。</p> <p>また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本榑ファミリア館内の本榑図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。</p> <p>将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様へサービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。</p> <p>ご意見をいただきました近隣の民間施設への証明書発行機（コンビニ交付用の機器）の設置につきましては、今後、集約化を検討する中で、働きかけていきたいと考えております。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P.72の「(2) 取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】</p> <p>なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めてまいります。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73となります。</p>
1 2	58	<p>本榑ファミリア館にある出張所はとても利便性が高いため、今後も頻りに利用すると思われる。存続を強く希望する。</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>集約化の理由等につきましては、No.1で回答させていただいたとおりです。その中で、牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。</p> <p>また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本榑ファミリア館内の本榑図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。</p> <p>併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機（コンビニ交付用の機器）の設置等</p>

No.	該当ページ	意見	意見への対応
			<p>について働きかけていきたいと考えております。</p> <p>将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様サービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P.72の「(2) 取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】 なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めていきます。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73となります。</p>
1 3	58	<p>意見について</p> <p>1 滝野 1～2 丁目は、入居から 20 年経過し高齢化が進むなか、徒歩圏内にある滝野出張所の移転は不便となり、問題があります。</p> <p>2 集約予定先の、牧の原出張所は、土曜・日曜は休業となり、ますます不便となります。</p> <p>3 滝野地区は、ますます入居者も増加しており、今回の集約化計画は、住民へのサービス低下となり、時代に逆行していません。</p> <p>従って、今回の計画は見直し現状維持を希望します。</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>集約化の理由等につきましては、No.1 で回答させていただいたとおりです。その中で、牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。</p> <p>また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本榎ファミリア館内の本榎図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。</p> <p>併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機（コンビニ交付用の機器）の設置等について働きかけていきたいと考えております。</p> <p>将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様サービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P.72の「(2) 取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】 なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めていきます。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73となります。</p>
1 4	58	<p>今回の滝野出張所の集約についてですが、私自身滝野地区で子育てをしながら出張所をよく利用させて頂いていました。ベビーカーを押しながら出張所で書類を取り寄せることも出来非常に助かりました。これから滝野地区は子育て世代が増加しファミリア館を利用しながら、出張所もありスーパーもある滝野市民の唯一の生活の利便性を無くしてしまうのは運営効率化と名乗った財政の削減のみを目的としているとしか思えません。安全で安心して利用出来る様にするというのは、どうあるべきでしょうか？印西市の考えは今の時代に非常に逆行しています。</p> <p>またこれから滝野地区の高齢化も深刻な問題となります。私もあと 10 年もすれば 60 代となりますので、安心してこの先も滝野地区で暮らしていきたいと思っていた中、大変ショックを受けました。</p> <p>464 を挟んで北側から南側に抜けるには渋滞もあります。また車でないと行くことは出来ません。セブンイレブンも南側に移転となり徒歩で行ける所が無いのです。滝野地区や滝野以外の足の悪い市民が車を降りてから 10 メートルもない距離で一番楽に手続きを出来るのもファミリア館です。</p> <p>一主婦の意見ですがどうぞ滝野地区市民の声を印西市長さんに理解して頂ける事を望みます。</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>集約化の理由等につきましては、No.1 で回答させていただいたとおりです。その中で、牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。</p> <p>また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本榎ファミリア館内の本榎図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。</p> <p>併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機（コンビニ交付用の機器）の設置等について働きかけていきたいと考えております。</p> <p>将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様サービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P.72の「(2) 取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】 なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めていきます。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73となります。</p>

No.	該当ページ	意見	意見への対応
15	58	<p>標記のプラン中の「滝野出張所」の「牧の原出張所」への集約化につき、以下意見を申し上げます。</p> <p>① 牧の原出張所への集約の合理的な理由（具体的な数値等）を示していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の当市の人口減少、高齢化の予測を踏まえ、市の財政の健全性を維持していくために、「公共施設のあり方の検討」は不可欠と考えます。加えて市町村合併という事情も勘案すれば、公共施設配置見直しの必要性は強いですし、その余地も十分ありと考えます。 ・今回のプラン策定の背景として、再配置後の出張所の地理的なバランスや地域ごとの人員構成等を勘案したものと思いますが、その理由をできるだけ開示していただきたい。 <p>これは、廃止となる出張所の地域の住民の方々も同様の考えをお持ちになると考えます。</p>	<p>意見の取り扱い：【その他】</p> <p>出張所の配置につきましては、ご意見のとおり、市全域の配置状況や利用状況等を勘案し、今度の方向性を検討させていただいております。その中で、牧の原出張所と滝野出張所の集約化につきましては、駅の約1km圏内に近接して設置していること、岩戸出張所や船穂出張所の廃止につきましては、利用件数が少ないことが理由の1つでございます。その他、住民票等のコンビニ交付の導入により一定の代替え手段ができたこと、納税については口座振替等をご利用いただけること、他の施設に比べ利用機会が限られる施設であることなどを踏まえ、各出張所の方向性を検討させていただきました。</p>
	—	<p>② フォレストモールへのマルチコピー機設置の働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出張所の機能の大きな一つに住民票写しや税務関係証明書の取得がありますが、こうした書類はマイナンバーカード保有が前提ですが、マルチコピー機にて取得可能となっております。 ・滝野地区の住民の高齢化が進む中、徒歩圏にあるフォレストモール内（たとえばマルエツ）にマルチコピー機の設置がされれば、ひじょうにありがたいです。設置の働きかけをご検討ください。 <p style="text-align: right;">以上</p>	<p>意見の取り扱い：【参考】</p> <p>ご意見をいただきました近隣の民間施設へのマルチコピー機（コンビニ交付用の機器）の設置につきましては、今後、集約化を検討する中で、働きかけていきたいと考えております。</p>
16	58	<p>2.7. 行政系施設 (1) 庁舎等：庁舎等（21ページ） ○牧の原出張所と滝野出張所の集約化への反対意見</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現在の滝野出張所の利用者は多く、今後も増加することが明らかである。 2. 集約して利便性が落ちるより、委託して残すことを検討すべきではないか。 3. 今後も開発が進む中で、町が発展するためには行政施設は必要不可欠である。 4. 集約化して利便性を落とすのであれば、それによってどのようなプラス効果が得られるのか？ 納得のいく説明を住民にしてほしい。 	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>集約化の理由等につきましては、No.1で回答させていただいたとおりです。その中で、牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。</p> <p>また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本榎ファミリア館内の本榎図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。</p> <p>併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機（コンビニ交付用の機器）の設置等について働きかけていきたいと考えております。</p> <p>将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様へサービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P.72の「(2) 取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】 なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めてまいります。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73となります。</p>
17	—	<p>昨日このことについて知りましたが、あまりにも配慮を欠いた乱暴なパブリックコメントかと思えます。</p> <p>『今後の人口減少や更なる高齢化の進展、厳しい財政状況などを見据え。。。』 滝野地区としては不便になりますと資料では確認できるものの、今後のデジタル手続き法案などの法改正を見据え、市としてマイナンバーカードの普及策によって利便性が変わらないようにどのような施策を行うのかなど、対案が全く見えない状況で、パブリックコメントの期間も短く、市民は黙って市政の方針に従いなさいとしか受け取れません。 少なくとも、有識者の意見や対案を踏まえて、市民と対話しながら方針を決めていくなど、丁寧な対応をお願いしたいところです。 お忙しいところ恐縮ではありますが、どうぞよろしくお願い致します。</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>デジタル手続法については、2019年（令和元年）5月31日に公布されたことから、本市においては、国の動向を注視してまいります。</p> <p>なお、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機（コンビニ交付用の機器）の設置等について働きかけていきたいと考えております。</p> <p>市民の皆様への周知の状況ですが、まず、本アクションプランの上位計画となる「印西市公共施設適正配置実施方針」の策定にあたっては、平成30年9月1日号及び9月15日号の『広報いんざい』や市のホームページ等で周知したうえで『市民シンポジウム』や『市民懇談サロン』を開催し、市民の皆様へご説明させていただくとともに、パブリックコメントを実施しました。その後、公共施設マネジメントに関する有識者のご意見を伺ったうえで、平成31年2月に策定し、平成31年3月15日号『広報いんざい』や市のホーム</p>

No.	該当ページ	意見	意見への対応
			<p>ページでお知らせしております。</p> <p>また、本アクションプランの策定にあたっては、平成31年4月15日号『広報いんざい』や市ホームページ等で募集を行い、令和元年5月～7月にかけて市民ワークショップを3回実施し、市民の皆様のご意見を参考にするとともに、公共施設マネジメントに関する有識者のご意見を伺っております。</p> <p>この度のパブリックコメントの実施については、令和元年9月15日号の『広報いんざい』で事前にお知らせし、令和2年1月1日号の『広報いんざい』や市ホームページで周知を図ったうえで、公民館や出張所等への本アクションプラン（案）やご意見箱等の設置を行っております。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P.72の「(2) 取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】</p> <p>なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めていきます。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73となります。</p>
18	58	<p>滝野出張所集約化について反対です。</p> <p>滝野も年々高齢化が進み、牧の原駅までの外出は、バスの便も悪く、むずかしくなっています。 滝野地区周辺は年々戸建住宅が増加している現状です。 出張所を利用する人も増えていると思います。なぜ今集約化になるかわかりません。 集約化しないで、どうか残してくださいませようお願い致します。</p> <p>現状のファミリア館は雨漏りがあり使い勝手も悪く、改修、建替えを考えてくださっている事、有難く感謝しています。 ファミリア館は図書館、シルバールーム、子育て支援センターがあります。健康診査、がん検診には多くの人が利用します。 滝野の住民には大切な場所です。ご配慮よろしくお願い致します。</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>集約化の理由等につきましては、No.1で回答させていただいたとおりです。その中で、牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。</p> <p>また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本塾ファミリア館内の本塾図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。</p> <p>併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機（コンビニ交付用の機器）の設置等について働きかけていきたいと考えております。</p> <p>将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様にごサービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P.72の「(2) 取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】</p> <p>なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めていきます。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73となります。</p>

No.	該当ページ	意見	意見への対応
19	-	<p>重要な問題点を感じています。 以下の事由により、パブリックコメント提出期限の延長を提案します。</p> <p>まず第一に、アクションプランの策定過程で市民に広く情報提供するとあります。が、パブリックコメントの締切日を明日に控え、住民への周知は殆ど為されていないのが実情です。</p> <p>昨日、民生委員の定例会がありその際、滝野担当委員の一人から、この様な噂を耳にしたのだけれど、と言う言い方で話が切り出されました。 私が非常に驚いたのは、殆どの委員が其の件について何も自治会等から公式な情報を得ておらず、全く知らなかったと言う点です。</p> <p>私の在住する滝野 1.2 丁目自治会に於いては、1 月 11 日日付で重要連絡として市のファイルコピーを含む書類が配布されましたが、他の自治会については昨日の時点でそうした物は無いそうです。</p> <p>各自治会で周知の方法、時期が異なるのは当然として、締切日を 2 日後に控えた段階で殆どの各町会の住民方が知らされる機会を与えられていないのは、市のパブリックコメント周知の方法、タイムスケジュールに最初から無理があるとしか考えられません。</p> <p>こうした現状で、公平に住民の意思を把握できるとは思いません。 行政としての事情もあるのですが、住民にとっては時間をかけた議論が必要な、地域社会の未来を左右する重要な問題です。</p> <p>こうした事由から、再度、周知の徹底とパブリックコメント締切の延長、又は第二期パブリックコメントの募集を提案いたします。</p>	<p>意見の取り扱い：【その他】</p> <p>市民の皆様への周知につきましては、No. 17 で回答させていただいたとおりです。</p>
	58	<p>第二に、滝野出張所移転については地域社会の実情に反するもので納得出来ません。 牧の原地区が若い子育て世代が多く、牧の原小学校のクラス数が年々増加している現実に比べ、町開き 20 周年を超えている滝野地区は高齢者の割合が高いのは当然で、徒歩圏内にコミュニティの拠点となる建物や、市の窓口があるのはとても大事な事です。</p> <p>スマホやPCを使わない高齢者は多く普通なので、徒歩圏内で、対面で行政との繋がりが持てると言う事は大きい安心感があります。他者に頼らず出来るだけ自立して老後の生活をマネージすることは介護予防の観点からもとても重要です。 そうした面からも、今の、スーパーと隣接した滝野出張所は必要不可欠です。</p> <p>一方、スマホ、パソコンが生活の基本ツールである子育て世代は行政からの情報入手が簡単で今後、スマホでの公的手続きも可能でしょう。 また、高齢者に比べて移動手段に制限が少ない分、出張所迄の距離は問題にはなりません。</p> <p>今後、牧の原地区の人口増加を予想すると、当然、地域社会のコミュニティの拠点となる建物は必要ですが、上記の理由から、その中に必ずしも出張所が必要とは考えられません。</p> <p>地域社会の未来を考える一住民として、又、住民の抱える現実を知り得る立場の者として申し上げました。</p> <p>どうかご検討下さい。</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>集約化の理由等につきましては、No. 1 で回答させていただいたとおりです。その中で、牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。</p> <p>また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本埜ファミリア館内の本埜図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。</p> <p>併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機（コンビニ交付用の機器）の設置等について働きかけていきたいと考えております。</p> <p>将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様にごサービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P. 72 の「(2) 取り組みの進行管理」の 8～9 行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】 なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めてまいります。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P. 73 となります。</p>

No.	該当ページ	意見	意見への対応
	58	<p>先程、パブリックコメント送信しましたが追加があります。</p> <p>ファイル P58 を見直し、滝野出張所の件だけでなく、総合的に他の出張所との比較の中で意見が生じました。</p> <p>それぞれの地区の人口の割合、それに伴う税収が、どれほど今回のアクションプランに反映されているのかと言う点です。</p> <p>例えば、もともと旧本埜村、本埜地区には本埜ふれあいセンター、スポーツ施設といった敷地面積、建物面積にも恵まれた複合施設の他に本埜村役場、現、本埜支所もあります。</p> <p>一方、現実的にみて、旧本埜地区より断然住民の多い滝野地区の住民はそれらの施設は殆ど利用状況が無いと言えます。地理的条件から滝野住民が頻繁に本埜地区に行き来することが無いからです。</p> <p>今回、本埜支所の大規模改修も計画内との事ですが、不公平感が免れません。</p> <p>現在の本埜公民館、ふれあいセンターの他に旧来の村役場を踏襲した規模の支所が必要でしょうか。本埜支所を利用する人口の割合は滝野、牧の原地区に比べ、圧倒的に少ないはずで。</p> <p>また、予測される今後の人口増減は滝野、牧の原、千葉ニュータウン中央地区にふれあいセンターの必要がある事を示しています。</p> <p>将来的には印西市役所を千葉ニュータウン中央地区に移転することが市の発展、行政の円滑化にも繋がるはずで、旧市町村の形態から脱却した総合的な見直しが必要です。</p> <p>各地区の人口、税収格差に伴う弊害は勿論考慮すべきですが、現在の状況は新しく移住して来た旧住民を上回る数の新地区の住民にとって、公的福利の面であまりにも不利益です。</p> <p>そうした面からも滝野、牧の原地区の出張所統合は論外で、人口割合に応じた総合的なアクションプランを作成する必要に迫られていると言えます。</p>	<p>意見の取り扱い：【その他】</p> <p>平成 31 年 2 月に策定しました「印西市公共施設適正配置実施方針」では、公共施設を対象に、将来にわたって市民サービスを維持していくため、今ある公共施設の集約化や複合化等の方向性を示しております。行政系施設の市役所や支所、出張所につきましては、集約化や複合化等の方向性について、人口以外にも設置場所の地理的なバランス等も含め、総合的な観点で検討しています。</p>
20	-	<p>印西市公共施設適正配置アクションプラン（案）に対する意見 全体</p> <p>① 「大規模改修」と「適正な維持管理」の内容と区分を明確にしてください。</p> <p>例えば：外壁の塗装のみ・内装張替えのみ・照明設備更新等単独修繕は、「適正な維持管理」 空調設備と内装更新・外壁塗装と屋根材張替え・大幅な使用勝手の変更に伴う間仕切りと防音機能の付与などの修理改修する場合は、「大規模改修」等</p> <p>② 指定管理者制度の導入について、指定管理者制度の導入にあたっては、請負業者との契約において、サービスの低下を招かないような善良な・確実な業務の履行の確保・業務の確保を確実にした契約をお願いします。</p> <p>③ 本書に記述されている法定耐用年数は、減価償却の耐用年数であり、施設の寿命とは別物であり、現有施設の老朽化は関係ないものと考えます。</p>	<p>意見の取り扱い：【参考】</p> <p>① 「大規模改修」とは、老朽化や故障等に対応するための建物全体の機能回復を主たる目的とし、利用状況の変化などに伴う間仕切り等の変更を含む改修工事としています。また、「適切な維持管理」とは、老朽化や故障等に対応するため、必要に応じて、単独または特定の範囲の修繕や改修工事を行うことにより維持管理していくこととしています。</p> <p>② ご意見として、参考にさせていただきます。</p> <p>③ ご指摘のとおり、法定耐用年数は減価償却の耐用年数で、その旨につきましては、P.4 に記載しております。当市では、経年劣化の状況や長期利用を図る際の目安としています。</p>

No.	該当ページ	意見	意見への対応
	14 50	<p>個別の意見 P14 中央公民館 P50 中央保健センター 前提 ① 中央公民館を移転・集約する、理由は、「用地が借地であり賃借料が高く維持が出来ない」「災害被害を予想される地域に所在するため、防災拠点として極めて不適である。」と理解する。 ② 中央保健センターを集約する理由は、行政を集約化し、施設を整理する（果たして現在の行政サービスを落とさずに行政を集約し、施設の減量化が図れるのか疑問がある）と理解する。 ③ 移設場所は、木下駅周辺地域で、液状化・揺れやすさマップや洪水・土砂災害ハザードマップによれば、地震被害や浸水被害等が想定される地域で公共施設用地を確保済と理解する。</p> <p>上記の前提を基にした意見 ① 中央保健センターを災害被害が予想される地域に、中央公民館と集約する必要を明確にしてください。 ② 液状化・揺れやすさマップや洪水・土砂災害ハザードマップによれば、地震被害や浸水被害等が想定される地域に防災拠点を整備することには、反対する。確保済の用地は、公園にするなど用途を変更して利用して戴きたい。防災・避難上とする必要があれば、延焼防止のため木造住宅密集地と一定の空間距離が確保できる広い場所を有した、一時避難の縦移動避難施設にするなど、木下駅周辺に在住の住民サービスに必要な施設に限定すべきと考えます。印西市の中央公民館に位置付ける必要はありません。本計画は30年40年を見据えた計画の一部分であり、長期的に考えた計画でなければなりません。印西市の中央公民館は市民全体のサービスの利便性を考慮して、全域の中央付近に文化ホールや市役所等他施設集約して整備すべきでしょう。 ③ 中央保健センターは、印西市の全域をサービスする行政機関であり、中央公民館と中央保健センターの持つ機能と任務から集約する理由が見当たらない。中央保健センターは、市民の利便性を考慮して、市域の中心部に集約すべき施設と集約すべき行政機関と考えます。このことから中央公民館と集約する計画に反対します。新たに用地を確保するなど再検討をお願いする。または、中央保健センターは、本塾支所に空きスペースが多くあるようですので一時的に移転仮住まいする等検討してください。</p>	<p>意見の取り扱い：【その他】</p> <p>中央保健センターは、老朽化が著しく、健診の際の部屋のスペースが不足しているなどの課題を抱えております。しかしながら、健診は毎日行うものではなく、健診の内容によって必要なスペースが異なることから、中央公民館との複合化により、部屋の有効活用や、トイレ等の共用スペースの縮減、維持管理の効率化等を図るものでございます。</p> <p>また、保健センターの位置につきましては、P. 51に記載のとおり鉄道路線ごとに各1箇所（成田線木下駅及び北総線千葉ニュータウン中央駅）で検討することとしております。そのうち、木下駅の周辺地域は、浸水想定区域となっておりますが、木下駅圏の活性化及び利便性向上の観点から、防災上特に配慮することを前提に、木下駅周辺に整備を検討するものでございます。</p>
	16	<p>P16 印旛公民館の複合化 P17 の地図によると、現在の印旛公民館は地理的には、第1種低層住宅専用地区（数千人規模の街になると考えられる）に隣接しており、道路計画など不明な点があるが、必ずしも位置的に不適とは言いきれないのではないかと考えられます。 現在地で、長寿命化・耐震補強・利用者がいない施設の減築等を図るべきと考えられます。</p>	<p>意見の取り扱い：【その他】</p> <p>印旛公民館は、施設の老朽化が進行しており、利用者が少なく、稼働率は約12%と公民館で最も少ない状況であることから、駅の近くに移転及び複合化することで、施設の老朽化に対応するとともに、利用増加や利便性の向上及び運営の効率化を図るものでございます。</p>
	20 44 46	<p>P20 図書館：図書館 P44 幼児・児童：その他子育て支援施設 P46 高齢者福祉施設：高齢者福祉施設 対策内容に建て替え工事の文言が記述されているが、木造建物で築20年たったから老朽が著しくなったのか、通常の管理が適正に行えなかったため老朽化が著しくなったのか不明である。通常、20年経過すると外壁塗装・内装・空調設備・電気設備等の老朽化は進み、その都度、修繕・更新すれば維持できるものである。 また、当該木造建物は、20年程度の寿命ではなく、景観などを考慮した長寿命計画で設計・建設されたものと理解している。公共施設を20年程度の寿命で計画・建設するもの、仮設建物として建設する以外あり得ません。</p>	<p>意見の取り扱い：【その他】</p> <p>本塾ファミリア館の老朽化につきましては、一例をあげますと、窓枠が木製で雨水が直接当たる状況であることなどから、腐食が著しく進行しております。このような窓枠をステンレス製等に交換するだけでも多額の費用が見込まれ、現状として駐車場不足という課題もあることから、大規模改修だけでなく、建替えを含めて検討することとしております。</p>

No.	該当ページ	意見	意見への対応
	31	<p>P31 32 対策内容と実施時期</p> <p>「印西市学校適正規模・適正配置基本方針」に基づき進めるとあるが、基本方針には、学区ごとの配置や必要教室数については、検討されそれなりの方針がされております。学校の施設規模の面から見ると現況学級数と現有教室数と必要学級数に大きな差があり、現有教室数が必要学級数を大幅に上回る学校が、約半数を占めている。これらをふまえた、学校施設の維持管理や有効使用の可能性等について、施設面での適正な学校規模の検討がなされていないようです。</p> <p>また、学校施設の管理計画を策定する際、「パブリックコメントとして出されて、今後具体的に進める際に参考にする。」とありますが、その意見を、本プランに反映させているとは思えませんので、再度、意見を述べさせていただきます。</p> <p>長期計画の管理計画では、印西市における現有公共施設の約1/3程度を減らす必要とあります。管理計画の目標を達成するには印西市の公共施設の65%を占める学校教育系施設の減に努めなければ、達成は絵に描いた餅となり、不可能となります。学校施設規模は、現在の時点で、現在の教室数約520に対して現在の学級数は約320で理論的には約200の教室が空いていることとなります。また、現時点が児童数のピークで、今後減少すると見込まれており、ますます、不要教室が増えることとなります。大部分の学校施設は、建設後20年経過し、大規模修繕の時期にきています。ほとんどの学校が、市として不足気味の地域交流・地域防災・老人子供の弱者支援施設としての適性があります。学校により教室の半分以上が空き状態でこれから10年もの間、保有することになっているのでは、適正な維持管理も無駄である。</p> <p>これらを、踏まえて、学校施設の使用目的の変更・有効利用・転用（老人福祉施設・子育て支援施設・防災避難貯蔵施設・地域交流施設等）・減築等を含めた検討を早急に行い、また、旧基準で建設された学校を新基準に合わせた学校にするなど、大規模修繕を早急に進めたい。</p> <p>なお、寿命が長い施設の検討には、精度の高い将来予測が基本となります。それぞれ予測期間は違いますが「印西市子ども・子育て支援事業計画（案）」によれば、児童数は大幅に増加する予測、「学校適正規模・適正配置基本方針」によれば児童数減少予測、最も長期的な予測の「印西市公共施設等総合管理計画」は減少または横ばいの予測、となっております。担当毎に担当の都合に合わせた数値予測を提示するのでは、本件を含め、それぞれの計画の信頼性が疑われ、市行政自体の信頼性も失われます。せめて、直近だけでも精度の高い予測として頂きたい。ただし、印西市は、子育て支援を充実し、子育て世代を印西市に呼び込む等子供を増加させる別施策または子供が増加する開発計画等があれば、上記「なお、・・・」以下は、削除してください。</p> <p>また、学校を増築される際、学校施設の特異性を考慮した建築物の構造（例えば、安価で寿命の短い建設物）として頂きたい。例えば、滝野中学校で教室の不足が予想され増築等を行うとありますが、「印西市学校適正規模・適正配置基本方針」の資料によれば、同一敷地内に設置されている滝野小学校は、教室が余っているようになっており、小学校の施設の一部を大規模修繕に併せて中学校に一時的にも転用できない理由があるのでしょうか。廊下では繋がっているようですが。</p>	<p>意見の取り扱い：【その他】</p> <p>平成31年2月に策定しました「印西市公共施設適正配置実施方針」では、将来的な少子化の進行により発生する学校の余裕教室につきまして、他の機能に転用するなどの利活用を検討することとしております。</p> <p>なお、滝野中学校の教室不足につきまして、一時的には滝野小学校の余裕教室を改修することで対応可能ですが、今後の児童数予測では、数年後には滝野小学校の余裕教室を活用しても教室の不足が見込まれることから、増築を行うものでございます。</p>
	56	<p>P56 庁舎等</p> <p>①対象施設の一覧表の延べ面積（専有面積）の規模は、現地なり図面なりで確認した規模でしょうか。例えば、印旛支所は、3階建の1階部分しか使用していないように見えますが、1階部分で約3000㎡であれば、支所の全体の建物面積は、印西市役所と同等の面積を有することになる。また当該建物は一部使用していない部分があるようですが、専有面積は、規模の比較、集約・建て替え規模の参考にするものと思います。間違いがなければ宜しいが、間違っているのではあれば、訂正したうえで再度、パブリックコメントを募集しなおしてください。（特に他の施設複合施設の面積が小さかったり、大きかったり現実と相違しているように感じられます。）</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>ふれあいセンターいんばのような複合施設の場合、共有部分や別棟などの面積につきましては、建物や設備の維持管理を主体的に行う施設（ふれあいセンターいんばの場合は、印旛支所）の専有面積に含めて計上しております。そのため、数値は間違いではありませんが、P.4の「延床面積」（専有面積）の説明を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】</p> <p>「延床面積」（専有面積）は、施設が保有する建物の延床面積の合計を記載しています。なお、複合施設の場合は、その施設が専有している面積を記載していますが、共有部分等の面積については、P.7の☆マークが付いている施設に加算しています。</p>

No.	該当ページ	意見	意見への対応
	56 58	<p>② 滝野出張所の専有面積が 379 m²と表示されておりますが、現地を確認したところ、事務室部分は極端に狭く一部屋しかなく、379 m²の 8 割は廊下・玄関等の共用部分のように見受けられます。また、集約化を検討しますとあります。</p> <p>出張所は、複合施設の管理を含めて業務を行っております。この現実を踏まえると、現在、出張所として使用している部屋は、施設の管理室として建設されたものであり、基本的には元の管理室に戻すこととしてよろしいか？</p> <p>当該滝野出張所周辺は、最近、商業施設や医療施設・介護施設が立地した地域であり、交通の便が悪い地域に拘わらず、徒歩圏内の地域住民（東の原地区・牧の原 6 丁目を含む）が集まる唯一の地域であります。住民サービスを犠牲にして出張所機能のみを駅前を集約することには、反対します。しかも、施設の管理要員は残さざるを得ず、人員の削減の効果は、ほとんどないと考えられます。</p> <p>なお、滝野地区には、街びらき当時（1996 年）は、滝野地区・周辺住民を対象とした出張所・会議室等地域交流施設が建設されていまして、その後、現在の図書館・シルバーーム・子育て支援室等の集合施設のファミリア館が建設（2002 年）された。この時点で、この地域に必要な施設の整備が完了しました。その後、公団の暫定施設を借用していた出張所・会議室等地域交流施設が廃止され、暫定的に出張所機能をファミリア館の管理事務所に移した。</p> <p>その後、出張所・会議室等地域交流施設の建設計画が進み、設計が終了し、建築確認申請手続きの段階まで進んでいたが、住民の了解もなく計画が霧消（2010 年の合併のいざこざの際）して、現在に至ったものである。</p> <p>これらを、踏まえて、滝野出張所の大改修や建替えにあたっては、滝野地区や東の原地区・牧の原 6 丁目地区他周辺の住民を対象とした地域交流センター程度（560 m²）の会議室等地域交流施設の増設又は含めた建て替えを要望します。</p> <p>以上</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>専有面積 379 m²は、ご指摘のとおり共用部を含んでいます。</p> <p>集約化の理由等につきましては、No.1 で回答させていただいたとおりですが、現在出張所として使用している部屋の今後の使い方や改修内容等につきましては、大規模改修又は建替え工事を進める中で検討させていただきます。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P.72 の「(2) 取り組みの進行管理」の 8～9 行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】</p> <p>なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めていきます。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73 となります。</p>
2 1	58	<p>滝野出張所を牧の原出張へ集約化することに対して反対致します。</p> <p>理由としては、牧の原出張へ集約化されてしまうと、お年寄りや平日車がない家庭では、出張所を利用することが難しくなるからです。</p> <p>現在は歩いていくことができる出張所ですが、滝野地区はお年寄りも多く、牧の原出張所までは、自力で行くことが困難になります。</p> <p>また、公共の交通機関であるバスは平日の朝と夕方しか運行していないため、使用するのには難しいと思われまます。</p> <p>平日の昼間だと車がなく、小さなお子さんがいるご家庭もあります。</p> <p>車を使わなくても行くことができる場所に出張所が必要であると考えます。</p> <p>よろしくおねがいたします。</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>集約化の理由等につきましては、No.1 で回答させていただいたとおりです。その中で、牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。</p> <p>また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本榎ファミリア館内の本榎図書館、滝野シルバーーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。</p> <p>併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機（コンビニ交付用の機器）の設置等について働きかけていきたいと考えております。</p> <p>将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様にごサービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくおねがいたします。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P.72 の「(2) 取り組みの進行管理」の 8～9 行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】</p> <p>なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めていきます。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73 となります。</p>

No.	該当ページ	意見	意見への対応
22	58	<p>意見：2.7 行政系施設（1）庁舎等に記載「滝野出張所」は大規模改修のうえ、引き続き滝野地区に残していただくことを要望致します。</p> <p>理由：滝野出張所を利用している滝野地区世帯は、最も開発の早い1・2丁目を中心に高齢化が進みます。滝野出張所が廃止され牧之原出張所に集約されると、自動車や自転車の運転ができなくなった高齢者は、印西牧の原駅の反対側に位置する牧之原出張所まで徒歩で向かわなければなりません。</p> <p>コンビニの代替サービスの利用も考えられますが、以前近辺で営業していたセブンイレブンは駅の南側に移転してしまい、徒歩での利用は難しくなりました。</p> <p>また、自動車を利用する場合でも、北側住民の利用は、464号線の橋を渡るまでの渋滞、BIGHOPの駐車場に止めるまでの迂回、駐車場から牧の原出張所までの徒歩を考えると便利ではありません。</p> <p>滝野出張所は、年間利用者数が安定して多く1万は超えていると伺っております。今後北側に位置する滝野七丁目の宅地開発なども進み、滝野出張所の利用者数はさらに増加が見込まれます。また、複合コミュニティー施設の1つとして設置するからこそ地域住民の交流にも寄与すると考えております。複合コミュニティーから出張所を外すというのは、時代の流れに逆行していると思います。</p> <p>何卒、ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>集約化の理由等につきましては、No.1で回答させていただいたとおりです。その中で、牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。</p> <p>また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本塾ファミリア館内の本塾図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。</p> <p>併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機（コンビニ交付用の機器）の設置等について働きかけていきたいと考えております。</p> <p>将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様にサービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P.72の「（2）取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】</p> <p>なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めていきます。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73となります。</p>
23	9	<p>1. P.9 ② 対策と優先順位の考え方について 具体的な取り組み対策の補足説明として、「資料編P.74～75」を案内すべきである。</p>	<p>意見の取り扱い：【その他】</p> <p>「資料編P.74～75」は、P.69「3. 対策による削減効果の検証」に用いる算出条件を記載しているものであるため、原案のとおりとします。</p> <p>※「資料編P.74～75」は、修正後のアクションプランの「資料編P.76～77」、P.69は修正後のアクションプランのP.70となります。</p>
	9	<p>2. P.9（利用状況）について</p> <p>(1) 「牧の原地域交流センターの利用者数は少ない」とあるが、2018年度以降の同地域への居住者の激増をより適切に反映する「利用者数」を把握して、直近の状況を示すべきである。</p> <p>(2) 市民活動支援センターの2015年度実績が空白となっている事情(理由)を脚注すべきである。</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>(1) 市では、施設の建物情報やコスト情報及び利用者情報等を見える化した施設カルテをホームページで公開しています。この施設カルテは、3年毎に更新し、計画を推進するための情報として活用するものであり、本アクションプラン（案）につきましては、現在公開している最新のデータ（2015年度から2017年度までのデータ）を活用していることから、原案のとおりとします。</p> <p>(2) 誤植のため、修正させていただきます。</p>
	9	<p>3. P9 ② 対策と優先順位の考え方について 市民活動支援センターについての記述として、P.51(実施時期)では中期計画に「(仮)千葉NT中央駅圏複合施設への集約化」と明記されていることから、統一すべきである。</p>	<p>意見の取り扱い：【その他】</p> <p>保健センターにつきましては、平成30年11月に策定した「UR都市再生機構事務用地活用に係る施設整備方針」において、整備する施設として位置付けているため、「(仮)千葉NT中央駅圏複合施設への集約化」と明記しております。一方で、市民活動支援センターにつきましては、当方針で整備を位置付けた施設ではなく、現在策定を進めている「(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備基本計画」が未確定であることから、原案のとおりとします。</p>
	12	<p>4. P.12 ② 対策と優先順位の考え方について</p> <p>(1) ③<対策内容>での本塾公民館についての改修を②に記述すべきである。</p> <p>(2) <実施時期>中央駅前地域交流館について、P.51での揭示と統一すべきである。</p>	<p>意見の取り扱い：【その他】</p> <p>(1) 「②対策と優先順位の考え方」では、特に優先して行う施設のみ大規模改修の実施を記載しており、本塾公民館については、②対策と優先順位の考え方の2つ目の「その他の施設」で示しています。なお、「その他の施設」には小林公民館も含まれます。</p> <p>(2) No.23の3で回答させていただいたとおりです。</p>
	14	<p>5. P.14 <実施内容・時期>について 「木下駅周辺への移転」とあるが、具体的な移転先を明示すべきである。</p>	<p>意見の取り扱い：【その他】</p> <p>具体的な移転先を決定していないことから、原案のとおりとします。</p>

No.	該当ページ	意見	意見への対応
	14	6. P. 14 <配慮すべき事項>について 「浸水想定区域内への移転」とあるが、大きな被害が発生している昨今の風水害に対して、わざわざそのような区域への移転は避けるべきである。	意見の取り扱い：【その他】 木下駅の周辺地域につきましては、浸水想定区域となっておりますが、木下駅圏の活性化及び利便性向上の観点から、防災上特に配慮することを前提に、木下駅周辺に移転を検討するものでございます。
	15	7. P. 15 案内図について 円(破線)の意味合いを説明すべきである。	意見の取り扱い：【修正】 中心からの距離圏を示しています。説明を見やすくするとともに、大きさが異なっておりましたので修正いたします。
	17	8. P. 17 案内図について 円(破線)の意味合いを説明すべきである。	意見の取り扱い：【修正】 中心からの距離圏を示しています。説明を見やすくするとともに、大きさが異なっておりましたので修正いたします。
	21	9. P. 21 ② 対策と優先順位の考え方について 大森・小倉台両館への指定管理者制度導入に伴い、他の4館との管理・運営体制等の考え方を案内すべきである。	意見の取り扱い：【その他】 大森及び小倉台図書館の指定管理者制度導入後における他の4館との管理運営の連携等につきましては、本アクションプラン策定後に検討いたしますので、原案のとおりとします。
	25	10. P. 25 <案内図>について 過縮小のため文字が読めない、90度転回して縮小を緩めるべきである。	意見の取り扱い：【修正】 ご指摘を踏まえ、見やすいよう修正いたします。
	26	11. P. 26 <建物等の状態>について 「敷地内の他の建物」とあるが、具体的に表記すべきである。	意見の取り扱い：【その他】 敷地内の他の建物は、管理事務所、野球場スタンド、スコアボード棟などですが、全ての建物を列記した場合、表記が煩雑になることから、原案のとおりとします。
	29	12. P. 29 <建物等の状態>について 大森小学校について、「1979年に建築した校舎」とあるが、P28<対象施設>若しくは脚注で案内すべきである。	意見の取り扱い：【その他】 <対象施設>につきましては、主たる建物を表記したものであり、記載する必要性は低いため、原案のとおりとします。
	38	13. P. 38 <配慮すべき事項>について もとの幼稚園について、「2021年度に法定耐用年数を迎え、更には2028年度には瀬戸幼稚園を集約化」と検討事項が記述されているが、空白期間並びに重複改修が生じないような具体策を記述すべきである。	意見の取り扱い：【その他】 法定耐用年数を迎え、集約化を行うまでの期間につきましては、集約化を見据えた必要な範囲の修繕を行うことにより、重複した改修が生じないよう対応する予定ですが、詳細は、本アクションプラン策定後に検討いたしますので、原案のとおりとします。
	39	14. P. 39 案内図について (1) 過縮小のため文字が読めない、90度転回して縮小を緩めるべきである。 (2) 保育園の表示は青字から黒字に変えるべきである。	意見の取り扱い：【修正】 ご指摘を踏まえ、見やすいよう修正いたします。
	45	15. P. 45 <実施時期>について 指定管理者制度の導入を検討すべきである。	意見の取り扱い：【その他】 指定管理者制度の導入につきましては、平成31年2月に策定しました「印西市公共施設適正配置実施方針」において定めた各施設の方向性に基いておりますので、原案のとおりとします。
	47	16. P. 47 <実施時期>について 指定管理者制度の導入を検討すべきである。	意見の取り扱い：【その他】 No. 23 の 15 で回答させていただいたとおりです。
	48	17. P. 48 ① 施設の概要について クリオネクラブと同種サービスを行う民間事業所11箇所を案内しておくべきである。	意見の取り扱い：【その他】 本アクションプランに列記する必要性が低く、記載した場合、表記が煩雑になることから、原案のとおりとします。
	51	18. P. 51 ② 対策と優先順位の考え方について 「成田線木下駅及び北総線千葉ニュータウン中央駅近郊」とあるが、<実施時期>では(仮)ながら、具体的な名称が記載されていることから、明記すべきである。	意見の取り扱い：【修正】 ご指摘を踏まえ、「～成田線木下駅近郊及び北総線千葉ニュータウン中央駅近郊の(仮)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設」に修正します。また、同様の記載がP. 53にもございますので、併せて修正します。

No.	該当ページ	意見	意見への対応
	55	19. P. 55 <実施時期>について 指定管理者制度の導入を検討すべきである。	意見の取り扱い：【その他】 No. 23 の 15 で回答させていただいたとおりです。
	60	20. P. 60 案内図について 過縮小のため文字が読めない、90度転回して縮小を緩めるべきである。	意見の取り扱い：【修正】 ご指摘を踏まえ、見やすいよう修正いたします。
	64	21. P. 64 案内図について 円(破線)の意味合いを説明すべきである。 ※修正後のアクションプランでは、P. 65 となります。	意見の取り扱い：【修正】 中心からの距離圏を示しています。説明を見やすくするとともに、大きさが異なっておりましたので修正いたします。
	66	22. P. 66 ③ 対策内容と実施時期について 有料6施設に関して、2019年12月27日に指定管理者から「取消申出」があり2020年1月16日から3月31日までの間の『市直営』となった事実の経緯(事情)、今後の同様な事象回避対策等の考え方をすべきである。 ※修正後のアクションプランでは、P. 67 となります。	意見の取り扱い：【その他】 本アクションプランに記載する内容ではないことから、ご意見として承ります。
	-	23. 「奥付」について 本アクションプラン(案) 所管部署を含めた内容の「奥付」を記載すべきである。	意見の取り扱い：【その他】 「奥付」については、策定時に明記します。
2 4	58	意見：2.7 行政系施設(1) 庁舎等に記載「滝野出張所」は大規模改修のうえ、引き続き滝野地区に残していただくことを要望致します。 理由：滝野出張所を利用している滝野地区世帯は、最も開発の早い1・2丁目を中心に高齢化が進みます。滝野出張所が廃止され牧の原出張所に集約されると、自動車や自転車の運転ができなくなった高齢者は、印西牧の原駅の反対側に位置する牧の原出張所まで徒歩で向かわなければなりません。 コンビニの代替サービスの利用も考えられますが、以前近辺で営業していたセブンイレブンは駅の南側に移転してしまい、徒歩での利用は難しくなりました。 滝野出張所は、年間利用者数が安定して多く1万は超えていると伺っております。今後北側に位置する滝野七丁目の宅地開発なども進み、滝野出張所の利用者数はさらに増加が見込まれます。また、複合コミュニティー施設の1つとして設置するからこそ地域住民の交流にも寄与すると考えております。 何卒、ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。	意見の取り扱い：【修正】 集約化の理由等につきましては、No. 1 で回答させていただいたとおりです。その中で、牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。 また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本塾ファミリア館内の本塾図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。 併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機(コンビニ交付用の機器)の設置等について働きかけていきたいと考えております。 将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様にごサービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。 なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P. 72 の「(2) 取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。 【修正案】 なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めてまいります。 ※修正後のアクションプランでは、P. 73 となります。
2 5	58	意見：2.7 行政系施設(1) 庁舎等に記載「滝野出張所」は大規模改修のうえ、引き続き滝野地区に残していただくことを要望致します。 理由：滝野出張所を利用している滝野地区世帯は、最も開発の早い1・2丁目を中心に高齢化が進みます。滝野出張所が廃止され牧の原出張所に集約されると、自動車や自転車の運転ができなくなった高齢者は、印西牧の原駅の反対側に位置する牧の原出張所まで徒歩で向かわなければなりません。 コンビニの代替サービスの利用も考えられますが、以前近辺で営業していたセブンイレブンは駅の南側に移転してしまい、徒歩での利用は難しくなりました。 滝野出張所は、年間利用者数が安定して多く1万は超えていると伺っております。今後北側に位置する滝野七丁目の宅地開発なども進み、滝野出張所の利用者数はさらに増加が見込まれます。また、複合コミュニティー施設の1つとして設置するからこそ地域住民の交流にも寄与すると考えております。 何卒、ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。	意見の取り扱い：【修正】 集約化の理由等につきましては、No. 1 で回答させていただいたとおりです。その中で、牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。 また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本塾ファミリア館内の本塾図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。 併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機(コンビニ交付用の機器)の設置等について働きかけていきたいと考えております。 将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様にごサービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

No.	該当ページ	意見	意見への対応
			<p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P. 72の「(2) 取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】 なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めていきます。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P. 73 となります。</p>
26	-	<p>集約化、統合化等の処置以外の記載はなく、集約化されて残った施設に対する有効活用の施策は、一切計画されていません。</p> <p>当該施設の建物や土地を有効活用する方策については、地域の方々や大学研究室の協力を得て、地域経済の振興や地域コミュニティ等の促進を図る活用策を検討する機会を設けて、取り組むのが望ましいと考えます。是非、ご検討ください。</p>	<p>意見の取り扱い：【その他】</p> <p>本アクションプランは、今ある公共施設について、集約化や複合化などの方策を具体的に推進していくための実施計画です。ご指摘の跡地等活用につきましては、平成30年2月に策定しました「印西市公共施設跡地等活用方針」に基づいて検討を進めることとしております。</p>
27	62	<p>本アクションプランでは、集約化され、閉校となった小学校の閉校後の扱いについては触れていない。</p> <p>学校は地域にとって貴重な財産であり、また地域の象徴的な存在でもある。ここを明確に説明しなくては、地域の人達に不安や誤解を生じさせることになるので、是非とも丁寧な説明がほしい。</p> <p>アクションプランの効果額の説明からは、閉鎖された学校が「公共施設の廃止により生じる跡地の売却」に含まれるかを読み取ることができない。明確に説明すべき。</p> <p>「宗像小学校旧配膳室は、民間事業者に貸し付けていることから、協議を行い、民間事業者への譲渡を検討します」とあるが、旧宗像小学校の今後の活用方法を決めたうえのことか？ 決めているのであればその説明が必要で、決定されていないのであれば、切り離して譲渡する理由を説明すべきと思う。</p> <p>近未来の収支にとらわれすぎず、将来の市民生活を考慮した視点で最も良いと思われ、市民も同意出来る方法で進めて頂くことを希望する。</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>効果額の試算におきましては、一定の仮定が必要であることから、P. 75の「集約化」等に記載のとおり、学校に限らず市街化区域の跡地については売却するものと仮定しております。ただし、あくまで試算のための仮定であり、売却を決定しているものではございません。なお、No. 26で回答させていただきましては、跡地等につきましては、「印西市公共施設跡地等活用方針」に基づいて検討を進めることとしております。</p> <p>また、旧宗像小学校の跡地等の活用方法は決定しておりませんが、旧配膳室は、従前より民間事業者に貸し付けを行っていることから、切り離して譲渡を検討することとしたものです。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P. 77 となります。</p> <p>人口減少や少子高齢化の進展が全国的な課題となっており、これらを踏まえますと、近い将来の収支が悪化した場合、その回復は困難となり、将来の市民の皆様的生活に大きな影響が生じてしまうことが懸念されます。本アクションプラン策定の背景等は、No. 1で回答させていただいたとおりですが、市民の皆様のご理解を得られるよう努めてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P. 72の「(2) 取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】 なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めていきます。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P. 73 となります。</p>
28	58	<p>【件名】 滝野出張所と牧の原出張所との集約について</p> <p>【内容】 資産の効率的な有効活用の観点から、人口増加が著しく、かつ、共働き世帯も多い滝野地区において、土日も開庁している滝野出張所施設の長寿命化を図るべきと考えるが、検討状況は如何であろうか？</p> <p>滝野出張所施設の耐用年数まで、あと数年あるので、その間、建て替え前提ではなく、耐用年数の長寿命化を図るための予防的修繕を考えることが、国の施策にも合致していると思われるが、その点についても如何であろうか？</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>集約化の理由等につきましては、No. 1で回答させていただいたとおりです。その中で、牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。</p> <p>また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本塾ファミリア館内の本塾図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。</p> <p>併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機（コンビニ交付用の機器）の設置等について働きかけていきたいと考えております。</p> <p>将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様サービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P. 72の「(2) 取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p>

No.	該当ページ	意見	意見への対応
			<p>【修正案】 なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めていきます。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73 となります。</p>
29	58	<p>パブリックコメントの期間が短いため、自治会としての周知ができず、やむなく、個人として書かせていただきます。また、住民の利便性及び地域のコミュニティの在り方として、滝野出張所の集約化という名の廃止について、反対の立場から何点か意見を述べさせていただきます。</p> <p>(地域住民への説明が不十分) 私は約3年前に新居を建て、移り住みました。私共の自治会の皆様も大半が市外や県外からの入居で居住期間も短いと言えます。何年か前も住民への説明はあったのかもしれませんが、この3年間、市からの住民に対する説明会等のご案内を見た記憶がありません。 これだけ住民の生活に関わる内容について、住民への説明会は開催されないのでしょうか。パブリックコメントという、住民へ意見を募集しましたという形式だけのやり方は、自助、共助を進める地域社会に対して不誠実だと言わざるを得ません。 この印西市公共施設適正配置アクションプランのやり方そのものが破綻していると言えます。</p>	<p>意見の取り扱い：【その他】</p> <p>市民の皆様への周知の状況等につきましては、No.17 で回答させていただいたとおりです。将来を見据えた市全体の公共施設についての計画でございますので、個別の自治会等への説明会は実施しておりません。</p>
		<p>(地域のコミュニティの在り方という考え方の不存在) 「滝野出張所(本塾ファミリア館内)の老朽化に対応するとともに、運営の効率化等を図るため、立地場所の利便性を考慮し、牧の原出張所への集約化を検討する」とありますが、近い区域に滝野と牧の原2つの出張所を設置してきた主旨は何だったのでしょうか？併せて、「各鉄道駅周辺において、基本的には1施設ずつ立地していますが、印西牧の原1駅周辺では、近接して2施設立地しています」とありますが、市としてどのような政策的判断がなされたのでしょうか？私たちが知りたいのは2施設を設置した主体者としての市の見解です。このアクションプランには「そもそも論」が全く記載されていません。少なくとも住民の利便性を考えて2施設を立地させたのだと思います。だとしたら、滝野出張所を廃止することが住民の利便性が向上すると明確に言えるということでしょうか。少なくともアクションプランを拝見しても、その点は理解できませんし、滝野地区、牧の原6丁目の住民にとって、住民サービスの低下に他なりません。 単に滝野出張所の人件費を削減したいということでしょうか？だとしたら、人工を示してください。また、出張所の指定管理者制度の導入は検討されましたか？ 総じて、市として地域コミュニティの在り方をどう考えているのでしょうか。牧の原6丁目付近はかなりの新築戸建てが建設され、明らかな人口増があります。それを把握したうえ、市として集約化という名の出張所機能の廃止を行うとしたら、それなりの理由を示していただく必要があります。</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>本印西市は、平成22年3月に印西市、印旛村及び本塾村の3市村が合併したことから、旧本塾村にございました滝野出張所と、当時は西の原二丁目にごございました牧の原出張所の2出張所が牧の原駅周辺に存在することとなりました。その後、牧の原出張所を平成24年度に牧の原駅前に移転したものでございます。その後、No.1で回答させていただいたとおり、当市の将来を見据えて、公共施設マネジメントを推進することとし、近接して設置している2つの出張所の集約化を検討することとしたものでございます。</p> <p>なお、滝野出張所の現在の職員数は、所長を含め4名(建物内の他施設の兼務を含む。)でございます。また、出張所につきましては、地方自治法上の公の施設に該当しないことから、指定管理者制度を導入することはできません。</p> <p>周辺地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、地域コミュニティに寄与するための施設として、本塾ファミリア館内の本塾図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。</p> <p>併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機(コンビニ交付用の機器)の設置等について働きかけていきたいと考えております。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P.72の「(2) 取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】 なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めていきます。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73 となります。</p>

No.	該当ページ	意見	意見への対応
		<p>(ワンストップサービス、地域共生社会という視点の欠如)</p> <p>現在の公共サービスの在り方として住民サービスの観点からワンストップ、また、近年は地域共生社会ということで縦割りやサービスの受け手、担い手の枠組みを超えた施策が求められているはずです。地域の中で子ども、高齢者が集える場所がファミリア館であり、その中で出張所機能をなくすという発想が理解できません。明確に反対いたします。</p> <p>また、ファミリア館の大規模改修といっても設計書が全く示されていない中で最初から、出張所が検討から除外されていることが結論ありきのプランとなっていると思います。既存の施設機能を残した場合やそれ以外の選択肢を検討したうえでの滝野出張所の廃止の議論だと思います。順番がおかしいということは住民不在の議論となっている証左であると感じます。</p> <p style="text-align: right;">以上。</p>	<p>意見の取り扱い：【その他】</p> <p>集約化の理由等につきましては、No.1で回答させていただいたとおりです。将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様にサービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p>
30	58	<p>牧の原出張所と滝野出張所の集約化について意見をいたします。</p> <p>滝野出張所の利用者数が、2015年度から2017年度にかけて増加傾向にあるなかで、現在計画中的の印西牧の原駅周辺の地区計画が順調に進めば、さらに利用者が増えると考えられます。</p> <p>このような状況で集約することは、以下のようなことが懸念されるため、集約化の撤回と両出張所の施設維持継続を要望いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進んで車離れが進むと、滝野地区から牧の原出張所への徒歩利用ができずサービスが受けにくくなる。 ・滝野地区から牧の原出張所への道路渋滞（464号線横断道路）およびBIGHOP入口渋滞が増え、この渋滞を避けるために駅前ロータリーへの違法駐車が増える可能性がある。これにより路線バス運行などに支障が出ると考えられる。 ・滝野出張所は土日開庁しているが、牧の原出張所は行われていない。（土日開庁をしていない）牧の原出張所に集約されることは、多様な働き方が行われている現代には逆行していると考えられる。 	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>集約化の理由等につきましては、No.1で回答させていただいたとおりです。その中で、牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。</p> <p>また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本塾ファミリア館内の本塾図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。</p> <p>併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機（コンビニ交付用の機器）の設置等について働きかけていきたいと考えております。</p> <p>将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様にサービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P.72の「(2) 取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】</p> <p>なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めていきます。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73となります。</p>
31	58	<p>滝野出張所の移転集約は賛同出来ません。</p> <p>財政状況から効率化は欠かせないことですが、滝野の人口減だけで、急遽牧の原出張所へ集約はあり得ないと思います。</p> <p>町開きをした時点から高齢化はわかっているはず。</p> <p>2025年まで状況をみてはどうでしょうか。</p> <p>実施するのであれば、先ず公共交通機関(バス)のダイヤ充実化を図るようにして下さい。</p> <p>以上宜しくお願いします。</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>集約化の理由等につきましては、No.1で回答させていただいたとおりです。その中で、牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。</p> <p>また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本塾ファミリア館内の本塾図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。</p> <p>併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機（コンビニ交付用の機器）の設置等について働きかけていきたいと考えております。</p> <p>将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様にサービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>公共交通に関しましては、No.10 2) で回答させていただいたとおりです。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P.72の「(2) 取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】</p> <p>なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めていきます。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73となります。</p>

No.	該当ページ	意見	意見への対応
3 2	58	<p>意見：2.7行政系施設(1)庁舎等に記載「滝野出張所」は大規模改修のうえ、引き続き滝野地区に残していただくことを要望致します。</p> <p>理由：滝野出張所を利用している滝野地区世帯は、最も開発の早い1・2丁目を中心に高齢化が進みます。滝野出張所が廃止され牧の原出張所に集約されると、自動車や自転車の運転ができなくなった高齢者は、印西牧の原駅の反対側に位置する牧の原出張所まで徒歩で向かわなければなりません。</p> <p>コンビニの代替サービスの利用も考えられますが、以前近辺で営業していたセブンイレブンは駅の南側に移転してしまい、徒歩での利用は難しくなりました。</p> <p>滝野出張所は、年間利用者数が安定して多く1万は超えていると伺っております。今後北側に位置する滝野七丁目の宅地開発なども進み、滝野出張所の利用者数はさらに増加が見込まれます。また、複合コミュニティー施設の1つとして設置するからこそ地域住民の交流にも寄与すると考えております。</p> <p>何卒、ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>集約化の理由等につきましては、No.1で回答させていただいたとおりです。その中で、牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。</p> <p>また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本埜ファミリー館内の本埜図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。</p> <p>併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機（コンビニ交付用の機器）の設置等について働きかけていきたいと考えております。</p> <p>将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様にサービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P.72の「(2)取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】</p> <p>なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めていきます。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73となります。</p>
3 3	58	<p>滝野出張所集約(移転)についての意見 滝野出張所集約には反対です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 滝野は高齢化が進み、我が家も今年で車の免許返納するため牧の原出張所まで、ふれあいバスも一日6便の運行では不便です。 2. 集約のアクションプラン(案)に人口減少と高齢化、厳しい財政状況と記されていますが、滝野は戸建てが急増加し、人口も増加してファミリー館の利用者は増加の傾向にあります。 3. 財政難で集約するならば、使用料(家賃)を支払う牧の原出張所を集約すれば経費削減になると思います。 4. ファミリア館を建て替えて頂けるなら住民集会に使用出来る様に、大部屋にして普段は、間仕切りで小部屋に、サークル等、多くの方が利用出来る様にお願致します。 5. 市長の新年のご挨拶に(防犯いんざい)(子供からお年寄りまで安心して暮らせる、まちづくりを目指す)とのこと…期待しています。 	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>集約化の理由等につきましては、No.1で回答させていただいたとおりです。その中で、牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。</p> <p>また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本埜ファミリー館内の本埜図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。</p> <p>併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機（コンビニ交付用の機器）の設置等について働きかけていきたいと考えております。</p> <p>将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様にサービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P.72の「(2)取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】</p> <p>なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めていきます。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73となります。</p>
3 4	58	<p>牧の原出張所と滝野出張所の集約化に反対です。</p> <p>滝野出張所の老朽化に対応すると共に、運営の効率化等を図るため、立地場所の利便性を考慮し、牧の原出張所へ集約化する前提ですが、行政の業務だけで牧の原圏で2つ在るのは効率的ではなく、人口の多い牧の原出張所に集約する。この結論は短絡的で独善的な誘導の仕方です。</p> <p>牧の原出張所は、西の原のスーパーカスミの駐車場の中にあつて、船尾、高花、草深、西の原、原、草深地区の市民が利用していました。それがBIGHOPの中で印西牧の原駅の近くに移転しました。遠く、不便になった市民も多いと思います。その結果、牧の原出張所と滝野出張所が近くなったから一か所に、また滝野出張所が老朽化しているから使い続けられないとしている理由が不自然です。</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>集約化の理由等につきましては、No.1で回答させていただいたとおりです。その中で、牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。</p> <p>また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本埜ファミリー館内の本埜図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。</p> <p>併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機（コンビニ交付用の機器）の設置等について働きかけていきたいと考えております。</p>

No.	該当ページ	意見	意見への対応
		<p>滝野出張所は本塾ファミリア館の中にあり、大規模改装か建て替えの計画にあります。</p> <p>滝野地域は住宅の増加で住民が大幅に増えています。新しい住宅街は集会所が無く、地域交流できる場所が早急に求められています。駐車場も狭く、建て替えが必要です。滝野地区は本塾クリニックタウン、スーパーなどが揃い、市民の往来が多くなってきており、そこに複合施設の本塾ファミリアが出来ると住み易い街づくりに近づくと感じます。滝野も20年以上経ち高齢人口が増加、遠くに行けない市民が増えています。又、自前の建物で複合施設は賃料も不要になります。</p>	<p>将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様にサービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P.72の「(2)取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】 なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めていきます。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73となります。</p>
35	12	<p>印旛公民館について、夜間サークル活動としてカラオケで利用していますが、今は自分達で機材を持ち込み準備しています。現在より充実した形で活用できるように、防音対策を中心に設備の充実（駅前公民館などに完備されている通信カラオケ機材の設置をせつに希望します。）</p> <p>市民も昼夜に問わず利用しやすくなり、楽しく健康で長生きにつながる事と思いますので、是非よろしくお願い致します。</p>	<p>意見の取り扱い：【参考】</p> <p>印旛公民館をふれあいセンターいんばと複合化する際には、平成31年5月～7月にかけて開催いたしました市民ワークショップでの意見等を踏まえ、防音機能を備えた部屋の整備を検討することとしております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、複合化を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
36	12	<p>印旛公民館施設の複合化が計画されている中、当公民館を利用している当サークルが現在使用している陶芸用電気窯は耐用年数を大幅に越え故障しており使用できない状態です。顧問の先生の所有の窯を利用して焼成している状態です。</p> <p>陶芸には、どうしても素焼き、本焼きの焼成に電気窯が必要です。公民館に新規購入を要請し何度も予算化申請してもらっているが未だ実現していない状態です。他の公民館には窯が設置されています。複合化の際、是非設置していただきたくお願い致します。</p>	<p>意見の取り扱い：【参考】</p> <p>いただいたご意見につきましては、複合化を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
37	12	<p>印旛公民館について、創作活動室を用意して欲しい。</p> <p>創作活動室の設備要望</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 部屋に予備室を設ける。 イーゼル等絵画制作に必要な備品を収納 2. 出来れば窓は北向き 絵画制作に安定した自然光が得られる。 3. 天井高は最低3m欲しい 4. 筆等洗える水洗設備をそなえる 5. 部屋の壁面上部にガイドレールを設け、絵画展示ができる設備一式を備えて欲しい（スポットライト等の照明） 	<p>意見の取り扱い：【参考】</p> <p>いただいたご意見につきましては、複合化を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
38	12	<p>印旛公民館の移転複合化については、市民が利用しやすい施設と運用をしていただきたいです。</p> <p>移転先は住宅地が近接しています。つきましては夜間活動しており、太鼓の練習で大きな音が出ますので、防音機能を備えた、現在使用している部屋（約100㎡）以上の広い部屋を整備し、誰でも活用できるようにして頂きたいです。</p>	<p>意見の取り扱い：【参考】</p> <p>印旛公民館をふれあいセンターいんばと複合化する際には、平成31年5月～7月にかけて開催いたしました市民ワークショップでの意見等を踏まえ、防音機能を備えた部屋の整備を検討することとしております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、複合化を検討する際の参考とさせていただきます。</p>

No.	該当ページ	意見	意見への対応
39	71 74	<p>印西市公共施設適正配置アクションプラン(案)は、2017年に策定の印西市公共施設適正配置実施方針を策定した施設類型別の今後の方向性や、2030年までに検討する各施設の方向性を示したが、本アクションプラン(案)は、各施設における集約化や複合化などを具体的に推進する実施計画を策定したものである。</p> <p>また、本案の計画進行管理が示す、「総量縮減の目標」[2030年度までの11年間で、公共施設保有量延床面積を約5%(約16000㎡)削減する]、及び「財源確保の目標」[2030年度までの11年間で、将来の更新等費用に充当可能と見込める財源の増加額として、9億円以上確保する]とのことである。</p> <p>しかし、印西市の財政(予算・決算)は単年度制で有り、本案は、印西市の単年度財政方針との整合性は、全く検討されていない。即ち、本アクションプラン(案)各年度毎の目標管理が設定されていない。</p> <p>さらに、資料編において、「対策による効果の検証」<将来の更新等費用の算出条件設定>において、新築費用及び解体費用単価は、どの年度で、何処の物件を参照としているかは不明である。</p> <p>また、<充当可能と見込める財源>において、本アクションプラン対象施設分1年当たり「12.4億円」と有るが、どの物件を売却し、どの程度の収益が得られるかという記載は無い。すなわち、印西市の財政(予算・決算)は単年度制で有り、これらとの整合性もない。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.72及びP.76となります。</p>	<p>意見の取り扱い：【その他】</p> <p>対策による効果額や縮減面積等につきましては、一定の算出条件を基に試算し、取り組み目標として、計画期間全体(11年間)の数値で示したものでございます。</p>
56	2.7.行政系施設	<p>本施設に関する記載は、市民への理解の正確性を担保する、十分な記載に欠けている。</p> <p>① 施設の概況</p> <p>印西市役所は、耐震補強済みとの記載があるが、現状、会議棟や付属棟はプレハブで有り、人口動態の傾向からしても、十分な施設と言えるのか。</p> <p>さらに、現状印西市役所は、ハザードマップに記載の通り「洪水災害」の対象区域に有り、この事実を本アクションプラン(案)には、一切記載がない。市民の正しい理解を得るためにも、正確な記載を求める。</p> <p>印西市役所は、行政事務の中心施設との記載があるが、現状<利用状況>の記載によれば、印西市役所の1日当たりの利用件数は(65-70)であり、中央駅前出張所(178-194)や牧の原出張所(72-89)より少なく、すでに現状の印西市役所は、行政事務の中心的な施設とは、なっていない事を示している。</p>	<p>意見の取り扱い：【その他】</p> <p>市の洪水ハザードマップ(H25.8発行)では、市役所は、浸水想定区域外となります。</p> <p>ご指摘をいただいた「1日当たりの利用件数65~70件」は、印旛支所の件数であり、市役所は様々な業務を行っていることから、利用件数は記載しておりません。</p>
57	②対策と優先順位の考え方の記載	<p>「市役所及び支所は…建築年度を基本として、施設管理者による自主点検や法定点検結果等を踏まえて優先順位を定め、適切な修繕や改修を行います。」とあり、アクションプランのどの時期に、どの程度の修繕や改修を実施するのかという記載は、一切無い。明確な時期や改修方法を明記すべきではないのか。</p> <p>また、印西市地域防災計画の第3章、災害応急対策計画、第1節災害応急活動体制、4.災害対策本部(2)設置場所に、代替順位が記載されているが、本件に関して、現状の人口動態に対応した代替施設の設置に関する質問をしたが、当該質問に関し、印西防第945号(令和2年1月8日)の回答では、「代替施設の設置に関する検証した記録がない」との回答を得ている。</p> <p>特に、代替施設である印旛支所(ふれあいセンターいんば)、本埜支所など代替施設としての機能を有していると記載されても、前記印西防第945号(令和2年1月8日)の回答では、「代替施設の設置に関する検証した記録がない」とのことで、どの様にして防災拠点としての機能を担保するのか、明確な記載が必要である。印西市民はどの様に理解して良いのか分からない。明確な方針・対策を記載して下さい。</p> <p>平賀出張所は、現状複合施設であるが、行政事務の執務面積が少なく、また各種計画書などの書籍の設置場所もなく、閲覧の場所もない。</p> <p>近くには平賀学園台という市街化区域が有り、都市計画税も徴収されている。千葉ニュータウン地区と比べると、行政サービスは希薄で有り、平賀出張所の地域格差の解消を求める。</p>	<p>意見の取り扱い：【その他】</p> <p>本アクションプランに基づき、今後も維持する施設のうち一定のものにつきましては、長寿命化計画を策定し、点検、改修等の時期を検討する予定です。</p> <p>地域防災計画への質問・回答に関する事項につきましては、ご意見として承ります。</p> <p>平賀出張所に関する事項につきましては、ご意見として承ります。</p>

No.	該当ページ	意見	意見への対応
	8	<p>2.1. 市民文化施設 (1) 集会施設：集会施設 ① 施設の概況 <概要>・コミュニティセンター及び一部集会所等は防災拠点(特別避難所)としての機能を有しています。 <建物等の状態>・集会所等28施設のうち、24施設は法定耐用年数を超え、老朽化が進行しています。 ② 対策と優先順位の考え方 「集会所等は、地域が主体となって利用する施設であることから、町内会等と協議を行い、町内会等の所有の集会施設として譲渡を進めます。」 これらの記載は、以下の点で問題点が存在します。</p> <p>1. 防災拠点としての役割は、公助・共助・自助に加えて近助(近所)という機能を担保する場所であり、住民の安心・安全を担保する重要な施設である。 これらの施設を町内会などに譲渡するとの方針であるが、町内会(自治会)等という組織は法人格を取得できない、単なる責任の負えない任意団体でしかない。 有償譲渡なのかなど条件を明確にしないと、当該地域の住民間に問題を惹起する要素が多くあるので、条件を明確に開示して下さい。 また、地域によっては限界集落と化してしまう場合もあり、地域のコミュニティが形成されない場合などがある。</p> <p>2. 「町内会等と協議を行い、町内会等の所有の集会施設として譲渡を進めます。」と単に記載しているが、譲渡の資格要件や譲渡の形式(有償・無償等)など不明確であり、単に考え方を記載しているのみでは、本アクションプラン(案)を市民はどの様に理解して良いのか理解に苦しむ。譲渡の資格要件や譲渡の形式(有償・無償等)など、明確な考えを提示して下さい。</p>	<p>意見の取り扱い：【その他】</p> <p>集会所等の譲渡に関する内容につきましては、町内会等との協議によるものと考えております。</p>
	72	<p>4. アクションプランの推進に向けて 4.1. 計画の進行管理</p> <p>(2) 取り組みの進行管理 「印西市公共施設マネジメント推進本部において、評価・検証をしていくこととします。」との記載ですが、当該推進本部の構成員は何方ですか。どのような資格の人が、構成員となるのですか。市民代表は構成員となれるので明確にして下さい。 さらに、当該評価・検証において、どのような項目を評価・検証するのですか。市民に分かりやすく、開示すべきではないのですか。 また、本アクションプラン(案)は、約11年間に及ぶ長期であり、推進本部の構成員も変動すると思われそうですが、毎年度のサイクルで、PDCAを行うようですが、これらの結果について、毎年度ごとに公表するのですか。具体的かつ明確に開示して下さい。 さらに、本アクションプラン(案)は、印西市の各地区・地域や職域など様々な利害が絡むテーマであり、その故、透明性・公平性・衡平性のある経営手腕を求められるのであって、担当する資産経営課は、市民目線で個々の案件を前後・上下・左右を見つめて対処されたい。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P73 となります。</p>	<p>意見の取り扱い：【その他】</p> <p>印西市公共施設マネジメント推進本部につきましては、市長を長とし、副市長、教育長及び各部の長で構成しております。 取り組みの進行管理については、P.72に記載のとおり、全体の延床面積の合計や、対策内容と実施時期の進捗状況等を毎年度取りまとめることとしており、その結果を公表して参りたいと考えております。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73 となります。</p>
	-	<p>その他全般： 本アクションプラン(案)に記載の全ての公共施設は、設置・建設された当時の法規に基づき施工されたものである。その後、当該法規の改正など時代の要請に応じて変更されている。 従って、本アクションプラン(案)に記載の全ての公共施設の中には、既存不適格に該当する物件が存在すると思われるので、該当施設については、公表の上、以後の対策を明確にして下さい。</p> <p>以上</p>	<p>意見の取り扱い：【その他】</p> <p>建築基準法上の既存不適格につきましては、大規模改修工事の際に改善を図っております。</p>

No.	該当ページ	意見	意見への対応
40	58	<p>滝野出張所移転の可否について</p> <p>1. 職場の現況 通常3名（男性1名、女性2名）の職員が常勤しているように思われるが、提供する行政サービスと、それに要する人件費、維持管理費等との対比で問題がないか。 業務内容は、税の受領、住民票の発行、印鑑証明書の発行等単純業務が多い。</p> <p>2. 私の出張所利用状況と感想 1年間に1～2回程度、固定資産税の支払いに赴くくらいで、住民票、印鑑証明書の発行等は数年に1回あるかないか、また、税については振り込み等いろんな支払い方法が考えられるので、出張所がなくても、困るとか不便だとかという認識はない。 それよりも常に感じるのは、手持無沙汰で座っている職員を見るにつけ、民間企業に勤めていた私にとっては違和感を感じる。</p> <p>3. 移転についての見解 (1) 市町村合併の目的の1つに、出先機関や施設の統合、削減があり、それによって行政コストの削減を図るがあったが、当市においては、十分に実行されてこなかったように推察される。 (2) 当市は東京都心に近く、恵まれた立地条件、URが行ったインフラ整備に助けられて（北総鉄道の高運賃は問題だが）住みよい環境にあり着実に人口が増加している全国でも数少ない自治体である。然し、今後高齢化が進み、過剰となっている施設の老朽化が進む中で、健全な財政を維持していかなければならない。</p> <p>4. これからは、一部住民の我慢を聞き入れるような施策を厳に見直す時期に来ていると考える。確かに真に必要なとしている一部住民に対しては十分に配慮をして支援を施す必要はあるが、何かし過ぎる施策は見直す必要があると考える。</p> <p>5. 今後の方向性について 出張所が移転することによる不便は確かにあるが、利用状況と行政コストから判断して止むを得ないと考える。 一方この際、行政のあり方も発想転換が求められる時代に入っている。今日までに住民が役所に足を運びサービスを得るといった片務的なパターンであったが、必要な行政サービスは、行政が住民の下に赴いてサービスを提供する発想が求められる。 例えば、役所まで行けない事情のある住民に対しては、職員が赴いてサービスを行うとか、近隣のスーパー、コンビニ等と連携して、簡単なサービスについては、そこで満たすとか、新しい発想のもとでの行政運営を切に望む者です。 以上</p>	<p>意見の取り扱い：【参考】</p> <p>滝野出張所の職員数は、所長を含め4名（建物内の他施設の兼務を含む。）で、職員が他の出張所で勤務することもあるため、場合により常勤数は異なりますが、滝野出張所の集約化の考え方や業務内容は概ねご意見のとおりでございます。 なお、今後の行政のあり方につきましては、市政全般についてのご意見として参考にさせていただきます。</p>

No.	該当ページ	意見	意見への対応
4 1	-	<p>1. アクションプラン全体について アクションプランには印西市公共施設のビジョンや課題、その課題から生まれる背景(真の原因)、課題ごとの改善案、進捗担当課、進捗管理方法などが記載されるべきです。より良い印西市の新たな理想に向かっていくための、そして実現を目指す重要なプランです。</p> <p>アクションプランは、現状の課題、その課題、その背景、理想の姿そして具体策が示されるべきです。このアクションプランは不足の部分が多くあると思います。現状の施設について明記されているが、新規に計画されている施設や噂されている施設などが記載されていないので追加すべきです。</p> <p>具体的な方策については当面継続が多い。 当面とは期間を表すより現在の判断を表す言葉であり、状況が変わったら判断を変えるかもしれないという含みがあるので期間があると感じますがそれが何時なのかについて何も言っていないのです。 維持とは以前に実施していることをそのまま続けることですから、アクションプラン期間中は現状のままです。意味になります。 建て替えや新設などの時期を追加すべきです。</p> <p>適正維持管理の適正とは適切で正しいことであり、維持とは施設の耐性と機能を保持するものです。 維持管理は、施設の点検・運転・維持・修繕を行うことにより、施設を正常に保つことです。各施設が正しい維持管理を実施していても、アクションプラン期間中のどこかでできなくなる時期が来ます。 これを想定して建て替えや新設の計画を進めておく必要があります。このことについて記述を追加して欲しい。 特に土地の手当てを進めることが大事だと思います。 各施設の建て替えや新設に対する考えが解りません。判断の基準をご説明ください。</p>	<p>意見の取り扱い：【その他】</p> <p>1. (仮称) 千葉ニュータウン中央駅圏複合施設や小倉台第3学童クラブのように、現に、市が設置に向けた取り組みを行っている施設を記載しております。</p> <p>当面継続の期間につきましては、本アクションプランの計画期間である、2030年度まででございます。また、当面継続とは、ご指摘のとおり計画期間内は、現状のまま維持管理を行うということであり、建替えを検討している場合は、その旨を記載しております。 なお、本アクションプランは今ある施設についての実施計画でございますので、新設につきましては、現に、市が設置に向けた取り組みを行っている施設のみ記載しております。</p>
	70	<p>2. 対策による縮減面積について 総合管理計画における基準面積(2014年度末時点) 307,446㎡に対して298,190㎡—基準面積に比べ9,256㎡の削減 アクションプランに於ける取り組み(2030年度末見込み)314,568㎡に対して298,190㎡—対策前に比べ16,359㎡の削減となっているがUR跡地の新施設や旧日本デキシー跡地への新施設などアクションプラン中に新施設がどのくらい必要となるのか、削減は新施設建設の将来を含めると削減量が大幅に変わるのではないかと思います。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.71 となります。</p>	<p>意見の取り扱い：【その他】</p> <p>対策による縮減面積につきましては、P.75に記載している算出条件を基に試算したものでございます。計画の推進に当たり、PDCAサイクルの中で、必要に応じて見直しを行うこととしております。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.77 となります。</p>
	-	<p>3. アクションプランの対象施設の大分類毎にプランを作るべきでないでしょうか。現在の施設の立地場所設数、建て替え時期などから計画を作るべきだと思います。本アクションプランは期間内に各施設への柔軟対応ができる内容で縮減面積やコスト削減などが難しいと思います。</p>	<p>意見の取り扱い：【参考】</p> <p>本アクションプランの上位計画となる「印西市公共施設適正配置実施方針(H31.2策定)」において、原則小分類ごとに方向性を定めていることから、本案も同様に小分類で纏めたものでございます。ご意見につきましては、2031年度以降の公共施設適正配置実施方針を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
	-	<p>4. 印西市は、464号線(北千葉道路)と南北への道路の整備が進行しています。市の重要施設はこの464号線沿いに市民の利便性や防災対策などから計画すべきです。</p> <p>最後に、将来の印西市のあるべき姿を市の優秀な方々に絵を描いて貰いたい。</p>	<p>意見の取り扱い：【その他】</p> <p>ご意見として承ります。</p>
4 2	58	<p>私は白井市より本市に転居してきました。(H10.3/22～) その転居を決めた第一の理由は、環境の良さ(自然豊か)、第二は464号道路の充実(鉄道をはさんで上、下)この道路は将来必ず成田空港につながると思った。 第三は、住まいの近くにスーパーや支所(滝野出張所)、図書館等があり、生活する上で便利な所であると判断しました。また医院等もあり安心できると思った。 しかし、時の流れと共にスーパーは閉鎖され、バス便も一時的に廃止され、その頃は本当に陸の孤島であった上、不便な思いをしました。精神的にも取り残されたように思った。 現在、バス便も復活、マルエツスーパーも出来、やっとほっと息をついております。 そんな時、支所(滝野出張所)が牧の原地区に合併されると、シニア会で伺い、そこへ行く迄のバス路線や、また昔のように</p>	<p>意見の取り扱い：【修正】</p> <p>集約化の理由等につきましては、No.1で回答させていただいたとおりです。その中で、牧の原出張所につきましては、集約化による影響を鑑み、開館日時や取り扱い業務の拡充など、一定のサービス向上を検討することとしております。 また、駅北側の地域における人口の増加や高齢化の進行を踏まえ、本榎ファミリア館内の本榎図書館、滝野シルバールーム及び滝野子育て支援センターにつきましては、現在の場所で継続することとし、課題となっている駐車場不足への対応や、今後も安全で安心して利用できるようにするとともに、より利用しやすい施設とするため、大規模改修又は建替えを検討することとしております。 併せて、集約化にあたりましては、市民の皆様のご意見を踏まえ、近隣の民間施設への証明書発行機(コンビニ交付用の機器)の設置等</p>

No.	該当ページ	意見	意見への対応
		<p>取り残されていくのでは、そんな不安な気持ちです。住民が安心できる町作りが必要ではないでしょうか。</p>	<p>について働きかけていきたいと考えております。</p> <p>将来的な人口減少や更なる少子高齢化の進展と、これらに伴う厳しい財政状況を見据え、今後も市民の皆様サービスを提供し続けるため、集約化を検討するものでございますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、この度いただきました皆様のご意見を踏まえ、P.72の「(2) 取り組みの進行管理」の8～9行目を、以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】</p> <p>なお、本アクションプランについては、市民の皆様のご意見や進捗状況の評価・検証結果を踏まえ、必要に応じて取り組み内容等の見直しを行いながら進めていきます。</p> <p>※修正後のアクションプランでは、P.73となります。</p>